

② 令和4年度鹿児島県総合体育センター事業等

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の支援
 - (1) 普及・奨励
 - ア 普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施
 - (ア) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」
 - a 春「ふれあいプラザ」

目 的	(1) 「こどもの日」にちなみ、幼児、児童生徒やその家族などにスポーツ活動の場として県総合体育センターの各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等が体験できる場や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。 (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。		
期日・会場	令和4年4月29日(金) 県総合体育センター各運動施設	参加者数	526人
対 象	幼児、児童生徒とその家族など		
成 果	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、白波スタジアムをメイン会場としてニュースポーツ種目をはじめ、各種交歓大会を実施することができた。参加者の安心・安全を最優先に、県民へのスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興につなげることができた。		
令和5年度の予定	令和5年4月29日(土) 県総合体育センター各運動施設		

《内 容》

1 プレイイベント

4月19日(火)に白波スタジアムで、学校法人丸岡学園やはた幼稚園年長組に、こいのぼりの掲揚やNPO法人SCCによるかけっこ教室に参加していただきました。



【園児からのこいのぼり贈呈】



【かけっこ教室】

2 当日の様子



【カヌー体験教室】



【クライミング体験教室】



【ニュースポーツ体験：釣りっこ】



【フェンシング体験教室】



【小学生ミニバスケットボール交歓大会】



【中学生軟式野球交歓大会】

b 秋「スポーツプラザ」

<p>目 的</p>	<p>(1) 「スポーツの日」にちなみ、スポーツ活動の場として県総合体育センター各運動施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動、ニュースポーツ等が体験できる場や交流を行える場を提供することにより、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めるとともに、「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進に役立てる。</p> <p>(2) スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、市町村等で開催されるイベント等のモデル事業として実施する。</p>		
<p>期日・会場</p>	<p>令和4年10月9日（日） 県総合体育センター各運動施設</p>	<p>参加者数</p>	<p>1800人</p>
<p>対 象</p>	<p>幼児から高齢者までどなたでも</p>		
<p>成 果</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、白波スタジアムをメイン会場としてヨガ体験教室や3B体操体験教室など実施し、県民のスポーツ活動及び健康づくりへの参加促進に努めることができた。</p>		
<p>令和5年度の予定</p>	<p>国体開催予定のため休止</p>		

《内 容》

参加者の様子



【体力測定】



【かけっこ教室】



【ニュースポーツ体験コーナー】



【なぎなた体験教室】



【障害者スポーツ種目体験教室】



【ヨガ体験教室】



【3B体操体験教室】



【軟式野球交歓大会】



【タグラグビー】

c 元旦「太陽とともに走ろう」

目 的	初日のもと、走り初めの機会を提供することで、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起し、県民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目指した「マイライフ・マイスポーツ運動」の推進を図る。		
期日・会場	令和5年1月1日（日） 白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）	参加者数	1,093人
対 象	幼児から高齢者までどなたでも		
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で開催し、多数の県民の皆様に参加していただき、新年における健康づくりや運動実践への意欲を喚起することができた。		
令和5年度の予定	令和6年1月1日（月） 白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）		

《内 容》

1 開会行事

当日は、新型コロナウイルス感染症防止対策を万全に行った上で実施しました。東條教育長の号砲により参加者は一斉にスタートしました。



【開会のあいさつ】



【スタート合図】



【開会行事の様子】

2 参加者の様子

当日は、事前に県民の皆様から応募のあったメッセージビデオや国体・総文祭についてのビデオを大型ビジョンにて放映しました。



【ジョギング・ウォーキング】



【総文祭のビデオ放映】



【会場から見えた初日】



【メッセージビデオ放映】



【国体PR】

(イ) 暑中げいこ・寒げいこ

<p>目 的</p>	<p>柔道、剣道及び弓道における礼法、基本動作及び練習法等を身に付けさせるとともに、暑さ・寒さに負けない強い意志と身体の育成を図る。あわせて、競技力の向上と生涯スポーツの推進に役立てる。</p>																	
<p>期日・会場</p>	<p>○ 暑中げいこ (弓道) 令和4年8月4日(木)・5日(金) 県総合体育センター武道館 (剣道) 令和4年8月22日(月)・23日(火) 県総合体育センター体育館 ※ 柔道は、他の大会と期日が重なり 指導者の確保が難しかったため柔道 会と協議の結果、今回は中止とした。</p>	<p>参加人数 (延べ人数)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参加校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剣道</td> <td>181人</td> <td>15校</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>150人</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		人数	参加校	剣道	181人	15校	弓道	150人	16校	合計	331人	—			
	人数	参加校																
剣道	181人	15校																
弓道	150人	16校																
合計	331人	—																
	<p>○ 寒げいこ (弓道・柔道) 令和4年12月26日(月)・27日(火) 県総合体育センター武道館 (剣道) 令和4年12月26日(月)・27日(火) 県総合体育センター体育館</p>	<p>参加人数 (延べ人数)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参加校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道</td> <td>67人</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>167人</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>165人</td> <td>17校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>399人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		人数	参加校	柔道	67人	7校	剣道	167人	14校	弓道	165人	17校	合計	399人	—
	人数	参加校																
柔道	67人	7校																
剣道	167人	14校																
弓道	165人	17校																
合計	399人	—																
<p>対 象</p>	<p>○ 暑中げいこ 剣道・弓道：中学1・2年生 ○ 寒げいこ 柔道・剣道・弓道：中学1・2年生</p>																	
<p>成 果</p>	<p>参加者の安全を第一に考え、一人当たりの練習時間が確保できるように各競技連盟と連携しながら計画から運営まで実施することができた。また、各競技団体から推薦された指導者による専門的な指導により、充実したげいこができた。</p>																	
<p>令和5年度 の 予 定</p>	<p>○ 暑中げいこ (弓道) 令和5年8月3日(木)・4日(金) 県総合体育センター武道館 (柔道・剣道) 令和5年8月22日(火)・23日(水) 県総合体育センター武道館・体育館 ○ 寒げいこ (柔道・剣道・弓道) 令和5年12月25日(月)・26日(火) 県総合体育センター武道館・体育館</p>																	

《 内 容 》

暑中げいこ



【剣道：基本打突】



【弓道：一手行射】

※ 吹き出しは、参加者の感想

学校では分からなかった部分を分かりやすく教えてくださいました。弓道という武道の奥深さを知ることができました。また、礼法の部分では、知らなかったことがたくさんあったので、学校でもできるように頑張ります。今回参加できなかった人にも習ったことを伝えたいです。

寒げいこ



【剣道：基本実技】



【柔道：実技指導】

「みんなより1回でも多くしなさい。」という言葉が心に残りました。ぼくは大きな人と組む場合、奥襟をつかまれて内股などでよく投げられていました。今回、手首を返して奥襟をとられないようにする方法を教えてくださいました。これから、もっと練習して試合で使えるようにしていきたいです。

(ウ) 地方青少年武道錬成大会

目 的	武道に対する正しい理解を深めさせるとともに、実技を通して心身の錬磨、技能の向上及び相互の親睦を図り、心身ともに活力に満ちた健全な青少年の育成に役立つ。		
期日・会場	○ 空 手 道	令和4年7月16日(土)・17日(日) 末吉総合体育館(曾於市)	参加者数
	○ 銃 剣 道	令和4年12月3日(土)・4日(日) 霧島市国分武道館(霧島市)	
対 象	武道を志す小・中・高校生		
成 果	関係武道競技団体及び関係市町教育委員会と連携が図られ、中央講師、地元講師の指導のもと、充実した錬成大会が行えた。		
令和5年度の予定	○ 剣 道	令和5年6月17日(土)・18日(日) 薩摩川内市総合運動公園体育館武道場(薩摩川内市)	
	○ なぎなた	令和5年12月16日(土)・17日(日) 鹿児島県総合体育センター武道館(鹿児島市)	

《内 容》

空手道錬成大会



【講話】

「国際大会に出場するには」

「時を守り、場を清め、礼を正す」その言葉を大切にし、心に持ち、空手をしていきたいです。



【実技指導】

まず、正しい姿勢を身に付けて、空手の基礎となる足の動きや中心目の動きを意識して練習していきたいです。

※ 吹き出しは、参加者の感想

公益財団法人日本武道館から派遣された中央講師2人と本県各武道連盟から派遣された地元講師2人が、2日間の錬成大会の指導を行いました。

中央講師：樋川光司 教士八段 千田裕也 教士七段
 地元講師：松元和成 教士七段 木谷博雄 錬士五段

銃剣道錬成大会

中央講師：松本栄一郎 範士八段 渋谷一幸 教士八段
 地元講師：芝 常 秋 範士八段 渡邊竜聖 錬士六段

【松本先生 実技指導】



【渋谷先生 実技指導】



【講話】



【基本動作】



初めて参加しました。最初はとても心配でしたが、先生の説明が分かりやすかったので、ほっとしました。前より上手になった気がしました。友達もできたので、またみんなと一緒に練習したいです。

「1眼、2足、3肝、4力」が技の神髄であることを学びました。「元気があれば何でもできる。」と先生に教わったので、これから元気に練習していきたいです。

イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

目 的	運動をする機会が少ない女性を対象にしたスポーツ・レクリエーション教室を総合型地域スポーツクラブを核として実施し、健康づくりや仲間づくりを通して運動に親しむ機会を充実させ、継続したスポーツ活動を推進する。		
期 日・会 場	期日：令和4年11月6日（日）20日（日）27日（日） 12月11日（日）18日（日） 令和5年1月15日（日） 全6回 会場：龍郷町体育文化センターりゅうゆう館	参加者数 (延べ人数)	180人
対 象	女性		
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて開催した。気軽に参加できる運動プログラムを構成したことにより、参加者からも好評であった。主管クラブも自クラブの充実、発展のためにSNSも活用して広報するなど、意欲的に取り組み、運動に親しむ機会を多くの方に提供できた。		
令和5年度 の 予 定	実施予定（詳細は後日決定）		

《内 容》

1 主管・実施クラブ

NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー（奄美市）



2 指導者

長田大樹，山田二千佳，亀山純恵

3 内容

人生100年時代への備え 骨盤について

※ 吹き出しは、運営者、参加者の感想

初回から最終回まで、本当に熱心な参加者と、その熱意に応えることのできる講師陣によって、充実した「骨盤ケア教室」ができたと思います。参加者へのフォローもSNSを活用して資料の配布などを行った結果、今後の「自分ケア」を自宅でも継続できる体制を取り、またSNS登録者も増えたので主管団体としても満足でした。（運営者）

- ・ 一人ではなく大人数で実施することで、自分も頑張ろうと励みになりました。
- ・ 普段の生活ではなかなか体を動かすこと、体について知ることができないので、今回このような形で受講できて、新鮮でとても勉強になりました。
- ・ 体のしくみを画像や動画を使って説明していただき、分かりやすかったです。
- ・ 腰や膝の不調も改善されて調子よく受講することができました。（参加者）



【長田大樹先生による実技指導】



【山田二千佳先生による実技指導】



【亀山純恵先生による実技指導】

ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室

目 的	障害のある方々を対象にしたスポーツ・レクリエーション教室を、総合型地域スポーツクラブを核として実施し、健康づくりや仲間づくりを図ることで、運動に親しむ機会を充実させ、継続したスポーツ活動を推進する。		
期 日・会 場	期日：令和4年10月23日（日） 11月13日（日）27日（日） 12月4日（日）18日（日） 全5回 会場：志布志運動公園体育館 曾於市清流の森公園遊歩道（11月27日のみ）	参加者数 (延べ人数)	64人
対 象	放課後等デイサービスの利用者，特別支援学級に通う児童生徒等		
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて開催した。参加者の人数や実態に合わせた運動プログラムを構成し実施したことで、楽しく運動に親しむ機会を提供することができた。主管クラブも今回の事業で得た障害者スポーツの指導者との連携等を今後の活動に生かしたいと意欲を高めていた。		
令和5年度 の 予 定	実施予定（詳細は後日決定）		

《内 容》

1 主管・実施クラブ ※ 吹き出しは、運営者、参加者の感想
NPO法人志布志スポーツクラブ（レインボー424スポーツクラブ）

2 指導者

パラスポおおすみ：津代 幸一郎, 花堂 洋光, 堂園 靖, 中村 美和子, 有村 みゆき

3 内容

フライングディスク, ラダーゲッター, ボッチャ, ハイキング



回を追うごとに参加者が増え、楽しみ方も広がってきました。ハイキングでは、車いすの介助体験などもでき、参加者も満足した様子でした。後半では、参加者が増えてきて、ゲーム形式で楽しむことができました。最終日には、白熱した試合で盛り上がり、とてもよいまとめができたと思います。これまでパラスポーツについては、まったく何もできていなかったもので、指導者とつながる大変よい機会になりました。（運営者）

親子とも活発に楽しむことができました。
フライングディスク、ボッチャ、ラダーゲッターを楽しんでいました。



【フライングディスク】

ハイキングで、車いすの介助体験などができたことが興味深かったです。



【ハイキング】

チーム対抗戦は白熱した接戦の好ゲームで、参加者全員でとても盛り上がり大変よかったです。



【ボッチャ】

エ スポーツ・レクリエーション体験教室「体育センターがやってきた！」

目 的	総合体育センター職員が直接県内の小学校及び義務教育学校（前期課程）、特別支援学校を訪問し、スポーツ・レクリエーション活動を通して、学校に「スポーツに親しむことの楽しさ」を提供するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の振興を深める。			
期日・会場・対象学年	① 令和4年6月29日(水) 肝付町立宮富小学校 全学年 ② " 6月30日(木) 始良市立北山小学校 全学年 ③ " 7月11日(月) 鹿児島市小山田小学校 5・6年 ④ " 7月14日(木) 南大隅町立神山小学校 6年 ⑤ " 9月10日(土) 鹿児島市立松元小学校 2年 ⑥ " 9月14日(水) 曾於市立大隅北小学校 全学年 ⑦ " 9月30日(金) 南九州市立大丸小学校 全学年 ⑧ " 10月12日(水) 鹿屋市立高隈小学校 全学年 ⑨ " 10月17日(月) 大崎町立大崎小学校 6年 ⑩ " 10月21日(金) 鹿屋市立鶴峰小学校 全学年 ⑪ " 10月26日(水) 垂水市立水之上小学校 1～4年 ⑫ " 11月2日(水) 阿久根市立鶴川内小学校 全年生 ⑬ " 11月4日(金) 南さつま市立益山小学校 5・6年 ⑭ " 11月17日(木) 錦江町立池田小学校 3～6年 ⑮ " 12月1日(木) 県立牧之原養護学校 高等部2年 ⑯ " 12月7日(水) 霧島市立高千穂小学校 全学年 ⑰ " 12月9日(金) 曾於市立岩川小学校 4年 ⑱ 令和5年1月20日(金) 志布志市立香月小学校 6年 ⑲ " 1月24日(火) 始良市立建昌小学校 5年1組 ⑳ " 1月27日(金) 肝付町立波野小学校 3～6年 (実施した学校のみを掲載)	参加者数	771人	
成 果	体育の授業では行わないニュースポーツを中心に体験させることで、運動が苦手な子供や運動に意欲的でない子供が楽しく活動する機会を提供できた。			
令和5年度の予定	実施校は、事前申込みにより本センターが選定する。(6月～1月実施予定)			

《内 容》

1 活動内容 (90分)

- (1) 開会行事
(職員紹介・ルール説明等)
- (2) 準備運動
- (3) ニュースポーツや障害者スポーツ等の体験
- (4) 閉会行事
(整理運動や児童の感想等)

※ 吹き出しは、参加者の感想



【準備運動】



【ディスクゲッター】



【バグゴ】



【ラダーゲッター】



【ボッチャ】



【キャッチング・ザ・スティック】

- ・ 大人から子供まで世界中の人たちも楽しめるってすごいと思います。(2年女子)
- ・ バグゴを自分で作って、みんなで遊んでみたいです。(4年男子)
- ・ 私はあまりスポーツは得意ではないけど、みんなとできてよかったです。私はあまり外で遊ぶことがないので、外で少しでも多く遊ぶようにしようと思いました。(6年女子)
- ・ 音楽に合わせて楽しく、頭を使う準備運動が参考になったので取り入れたいです。(職員)

オ 市町村等のスポーツ・レクリエーション活動への支援

(7) 指導者派遣・広報

市町村等からの依頼要請に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に関する事業等の指導者派遣・広報を行う。

(4) スポーツ・レクリエーション用具の貸出し

目 的	生涯スポーツの推進のため、県民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるように、各種団体等にスポーツ・レクリエーション用具の貸出しを行う。
対 象	公益性のある団体・事業

《 内 容 》

1 貸出・返却の流れ

- (1) 貸出用具については、県総合体育センターのホームページに掲載されている「※スポーツ・レクリエーション貸出用具一覧表」を参照する。又は事前に県総合体育センター指導課振興係に電話(099-255-0146)で問い合わせる。
- (2) 県総合体育センターで所定の手続きを行う(印鑑が必要)。
- (3) 借用期間は、原則2週間以内。
- (4) 期限までに、借用物品の形状及び数量を確認して返却する。

URL

<http://www.pref.kagoshima.jp/bc10/kan/kikan/taiku/kashidashi/r4supo-turekurie-syon.html>

2 貸出用具とゲームの行い方(貸出件数の多い順)

第1位【ボッチャ】

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



第2位【スカットボール】

ゲートボールと同様のスティックを使って、的となる台の穴にボールを入れるスポーツです。ボールをスタートラインからスティックで打って、高得点を狙いますが、穴の特殊なカーブがハラハラドキドキのゲームを演出します。



第3位【バグー】

2つのボードを向かい合わせに置き、2チームに分かれてビーンバッグを投げて得点を競います。ボードに乗ると1点、穴に入ると3点、ボードに乗ったバッグに当てて両方穴に入ると6点。激しい動きがなくルールも簡単な上、アウトドア、インドアどちらでも楽しめます。



第4位【ディスクゲッター】

9枚のパネルセットのターゲットを使ってスコアゲームをします。子供から大人までが夢中になれるターゲットゲームです。1人で投げて何枚抜けるか、2人で投げていき、どちらが多くパネルを抜けるかなど、遊び方はその場で作れます。



第5位【わなげ9&Q】

輪は片手であればどんな持ち方をしてかまいません。シングルスは連続して9本を投輪します。ダブルスの場合、同じチームの2人が交互に投げるルールです。的棒に記入してある数字が得点になり、投げ輪を9個全部投げ終わった時に、棒に入っている輪の点数の合計が得点になります。広い場所を必要とせずどこでも楽しめる上ルールも簡単です。作戦を立てながら行えば、奥深い楽しみがあり、子供から高齢者まで、気軽に楽しむことができます。



(2) 指導者の養成と資質向上

ア スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成講習会

目 的	スポーツ・レクリエーション活動を通して、県民の健康増進や地域づくりを促進するため、スポーツ・レクリエーション活動指導者の養成や総合型地域スポーツクラブの運営、スポーツイベント等を開催することができるスポーツ・レクリエーション活動リーダーを養成する。		
期 日・会 場	令和4年6月25日（土）・26日（日） 県体協会館会議室	参加者数	20人
対 象	各市町村及び各市町村教育委員会社会体育担当者、スポーツ推進委員、社会体育有志指導者、教職員、総合型地域スポーツクラブマネージャー及び関係者等		
成 果	大学教授等の講師による講義を通して、参加者は、スポーツ・レクリエーション活動指導者として必要な知識や技能を身に付けることができた。		
令和5年度の予定	本養成講習会は、令和5年度以降は公認コーチングアシスタント養成講習会へと完全移行となるため、令和4年度をもって修了する。 (※公認コーチングアシスタント養成講習会は、オンライン講座があることを周知していく。)		

《内 容》

講習会の様子

※ 吹き出しは、参加者の感想



【ジュニア期のスポーツ】
鹿兒島大学 講師
與儀 幸朝



【文化としてのスポーツ】
県スポーツ協会 クラブアドバイザー
永田 智和



【指導計画と安全管理】
県総合体育センター 体育研修主事
吉田 泰斗



【指導者の役割 I】
県総合体育センター 振興係長
寺原 和照



【地域におけるスポーツ振興】
鹿屋体育大学 教授
北村 尚浩



【トレーニング論 I】
フィットネスファクトリー代表 健康運動指導士
高司 譲



【スポーツと栄養】
KOGOテラス 管理栄養士
横山 笑子



【スポーツ指導者に必要な医学的知識 I】
いまきいれ総合病院 スポーツドクター
大瀬 克広

これまで配慮に欠けていた部分が見えてきたので、改善して子供たちの指導に役立てたいです。

心身の発育・発達に注視しながら競技の指導に努めたいです。また、栄養面にも気を付けたいと思います。

イ 公認アシスタントマネジャー養成講習会

目 的	総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員や県民が充実した健康・体力づくりや地域づくりができるようにクラブマネジャーを補佐するとともに、クラブマネジメントの諸活動をサポートすることができる人材を養成する。		
期日・会場	令和4年8月6日(土)・8月7日(日) 県体協会館会議室(県総合体育センター武道館)	参加者数	16人
対 象	○ 18歳以上(令和4年4月1日現在)の次に該当する者 ○ 市町村教育委員会及び関係市社会体育担当者、スポーツ推進委員、社会体育有志指導者、教職員、総合型地域スポーツクラブで活動している者又は活動を希望する者		
成 果	講習会をとおして、参加者がクラブマネジメントの諸活動をサポートすることができる知識を身につけることができた。		
令和5年度の予定	令和5年8月5日(土)・6日(日) 県体協会館会議室(県総合体育センター武道館)		

《内 容》

1 講 義

- 基礎1-1 「地域スポーツクラブを取り巻く環境と地域スポーツクラブの必要性」
鹿屋体育大学 教授 中垣内 真樹
- 基礎1-2 「クラブマネジャーの果たすべき仕事と役割、求められる能力」
NPO法人SCC ゼネラルマネジャー 竹内 良人
- 基礎2-1 「地域クラブの設立と運営の概要」
NPO法人始良スポーツクラブ クラブマネジャー
日高 紀孝
- 基礎2-2 「ケーススタディー……設立準備から自主運営までの実際」
- 基礎2-3 「グループワーク……クラブ設立、運営の事業計画書作成」
(公財)鹿児島県スポーツ協会
クラブアドバイザー 永田 智和

※ 吹き出しは、参加者の感想



【基礎1-1】



【基礎1-2】



【基礎2-1】



【基礎2-2・3】

2 参加者の感想

- ・ いろいろなスポーツクラブの在り方、考え方などの意見交換ができて、これからの自分に何ができるのか、何をしないといけないのか考えさせられました。
- ・ 実際に携わっている人と出会えてその思いの強さをまずは感じました。新しい知識を得ることができて、自分自身のブラッシュアップになりました。
- ・ この2日間の学ばせていただいたことを活かし、地域の健康作りや楽しみ・生きがい作りをしていきたいです。

ウ 柔道指導者講習会

目 的	県内の中学校・高等学校における教科体育，教員の授業における資質向上や部活動及びスポーツ少年団等の柔道指導者の指導力を高め，本県柔道競技の競技力向上を図る。		
期日・会場	令和4年5月23日(月)・24日(火) 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	参加者数	165人
対 象	県内の中学校・高等学校保健体育担当教員，柔道部活動指導者及びスポーツ少年団等の柔道指導者		
成 果	講道館の講師等による講義や実技を通して，参加者に柔道指導者として必要な知識や技能を身に付け，指導力を高めることができた。		
令和5年度の予定	令和5年5月18日(木)・19日(金) 県総合体育センター武道館		

《内 容》

講習会の様子

※ 吹き出しは，参加者の感想



【開会のあいさつ】
北哲郎 会長
(公益財団法人鹿児島県柔道会)



【講義Ⅱ「安全指導」】
中尾小都枝 五段



【講義Ⅴ「登録関係・昇段関係」】
熊井康浩 六段
山崎逸郎 八段



【講義Ⅰ「柔道理論」】
鮫島元成 八段
(公益財団法人講道館参与)



【講義Ⅲ「公認指導者資格関係」】
中村勇 六段



【実技Ⅱ「投の形」】
山野修 五段
古賀陽佑 五段



【実技Ⅰ「投の形」】
鮫島元成 八段
(公益財団法人講道館参与)



【講義Ⅳ「国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定」】
福元雅一 七段

柔道理論と投の形がとてためになりました。生徒に教えるために，技術だけでなく，精神や理論・知識も深めていきたいです。

3年ぶりで嬉しい限りでした。関係者が待ち望んだ機会でもありました。また，北会長が九段に昇段されたという紹介があり，成功裏に閉じることができたと思います。

エ 地域社会武道指導者研修会

目 的	中・高等学校及び地域における剣道・なぎなた指導者の技能の向上を図るとともに、指導力を高め、本県の剣道・なぎなた競技の普及振興と競技力の向上に役立てる。		
期日・会場	○ 剣 道 令和4年9月3日(土)・4日(日) 鹿児島県総合体育センター体育館 (鹿児島市)	参加者数	63人
	○ なぎなた 令和4年12月17日(土)・18日(日) 南九州市知覧体育館(南九州市)		16人
対 象	中・高等学校及び地域の指導者等		
成 果	関係武道競技団体及び関係市町教育委員会と連携が図られ、中央講師、地元講師の指導により、参加者の指導力向上を図ることができた。		
令和5年度の予定	○ 弓 道 令和5年11月4日(土)・5日(日) 西原商会アリーナ弓道場(鹿児島市)		

《内 容》

公益財団法人日本武道館から派遣された中央講師2人と本県各武道連盟から派遣された地元講師2人が、2日間の指導者研修会の指導を行いました。

※ 吹き出しは参加者の感想

1 剣道

中央講師：笠村 浩二 範士八段 笠谷 浩一 教士八段
 地元講師：野村 良三 教士八段 上宇都正昭 教士七段



【笠村先生 実技指導】



【笠谷先生 実技指導】

研修会を通じて改めて基本動作、礼法を見直すことができました。指導方法を持ち帰り、子供たちの指導に生かしていきたいです。

剣道では、基本に忠実に、基本を大切にと言われますが、両先生の基本技能の奥深さを改めて再確認いたしました。

2 なぎなた

中央講師：今浦 千信 教士 吉井 和代 教士
 地元講師：上野千代子 錬士 上牧 真美 四段



【今浦先生 講話】



【吉井先生 実技指導】



【基本動作】



【対人技能】

専門用語を使わずに「合わせて」「入れかえて」等の言葉を使い、生徒に難しい印象を与えないように工夫することが大切だと思いました。他者に教えるときに、手の位置や体の向き等に目が行きがちですが、技の一連の流れをお互いに息を合わせて丁寧に行うことを大事にしていきたいです。

なぎなた以外の種目と同様に、「なぎなた」を通じて、礼法・間合いを考え、なぎなたの楽しさに触れてもらい、生涯スポーツにつなげることが大事だと思いました。

オ アウトドア活動指導者育成講習会

目 的	アウトドア活動に対する総合的な知識を持った地域指導者の養成を図るとともに、県民の生涯スポーツ推進の一環として、アウトドア活動の普及・振興を図る。		
期 日・会 場	令和4年6月18日（土） 令和4年7月2日（土）・3日（日） 県立南薩少年自然の家	参加者数	30人
対 象	教職員，公認スポーツ指導者，社会体育有志指導者，市町村教育委員会職員，青少年教育施設等職員，青少年団体等指導者，総合型地域スポーツクラブ関係者，アウトドア活動に興味のある満18歳以上の方等		
成 果	アウトドア活動に必要な知識や技術を講義や実習を通じて身に付けることができた。		
令和5年度の予定	令和5年6月17日（土） 令和5年7月1日（土）・2日（日） 県立青少年研修センター		

《内 容》

1 講義

※ 吹き出しは、参加者の感想

キャンプに関する基本的な知識や野外ゲームのプランニングについて学びました。



【講義】

2 実技

アイスブレイク，食材獲得ゲーム，野外炊事，屋台制作，料理コンテスト等の活動を体験しました。



【アイスブレイク】



【食材獲得ゲーム】



【野外炊事の基礎】



【料理コンテスト】



【ゲームプランニング】



【野外炊事】



【屋台制作】



【全体写真】

3 研究協議

これからのアウトドア活動指導者に必要な資質や求められる能力について研究協議を行いました。



- ・ 個々の活動ではなく、グループ（チーム）で活動させていただくことで幅広い年代の方々と関わることができました。
- ・ ルールは簡単でも工夫をすることで、好記録を目指せるというゲーム構成は、年齢や性別を問わず楽しめるということを身をもって体験することができて良かったです。
- ・ 未経験な活動であったため多くの不安要素はあったが、その後の達成感は非常に素晴らしいものでした。
- ・ 一つ一つの活動の中にそれぞれの目的がしっかりあること、そして自分自身が体験することで、ただ知識として学ぶだけではなく意味もはっきり理解できるような内容でした。

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成支援

ア 活動状況調査

(7) 設立支援状況調査

目 的	総合型地域スポーツクラブの設立準備状況について確認し、今後の方向性について意見交換を行う。また、各市町村における生涯スポーツの取組について、情報交換を行う。
対 象	現在設立準備中となっている市町村の関係団体(教育委員会や設立母体等)
成 果	設立を希望している団体関係者と面談し、設立に向けた具体的な取組についてや設立準備状況について確認し、今後の方向性について意見交換を行うことができた。
令和5年度の予定	関係市町村の団体(教育委員会や設立母体等)と早めに日程調整を行い、計画的に訪問を実施する。

※ 調査実績

期 日	団 体	場 所
令和4年5月31日(火)	一般社団法人Vスポーツ	鹿児島市
6月28日(火)	一般社団法人ホームベース	鹿屋市
8月31日(水)	一般社団法人ホームベース	鹿児島市

(イ) 運営状況調査

目 的	総合型地域スポーツクラブの運営状況を把握し、地域における生涯スポーツの推進について、情報交換を行う。
対 象	これまでの運営状況調査の実施状況や広域スポーツセンター研修会への出席状況などを踏まえ、状況調査が必要と判断されるクラブ。
令和5年度の予定	調査を実施するクラブについて、関係市町村及び総合型地域スポーツクラブと日程調整を行い、実施する。

※ 調査実績

期 日	団 体	場 所
令和4年10月20日(木)	屋久島町教育委員会 やくしま仲良しコミスポクラブ	屋久島町
11月21日(月) 11月22日(火)	与論町教育委員会 NPO法人ヨロンスC	与論町
令和5年2月17日(金)	特定非営利活動団体川内スポーツクラブ01	薩摩川内市

イ 情報提供・相談

情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県の総合型地域スポーツクラブに関する情報の提供を行った。 ○ 広域スポーツセンター研修会の内容について、県総合体育センターのホームページに掲載した。
相談内容	総合型地域スポーツクラブの設立に関する相談や補助金の手続きに関する相談、県民からのスポーツ・レクリエーション活動に関する環境や指導者等に関する問合せに対応した。

※ 詳細は、県総合体育センターホームページを参照
目的別情報>広域スポーツセンター

www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html



【ホームページ】



【総合型地域スポーツクラブの設立状況】

ウ 育成支援

(ア) 広域スポーツセンター研修会

<p>目 的</p>	<p>(1) 地域スポーツ振興のために、各市町村の生涯スポーツ担当者や総合型地域スポーツクラブ関係者が一堂に会し、当面する課題や今後の取組などについて認識を深め、課題解決を図る。</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブの自立支援のために、スポーツクラブ運営に携わる人材育成を図る。</p>		
<p>期日・会場</p>	<p>○ 第1回 令和4年11月16日(水)：かごしま県民交流センター</p> <hr/> <p>○ 第2回 令和5年2月3日(金)：鹿児島県歴史・美術センター黎明館</p>	<p>参加者数</p>	<p>82人</p> <hr/> <p>59人</p>
<p>成 果</p>	<p>第1回のテーマを「市町村行政と総合型地域スポーツクラブの連携」として、「認定クラブ制度の手続き」や「休日の部活動の段階的な地域移行」等についての説明や地域課題の解決に向けた演習を実施し、当面する課題や今後の取組などについて認識を深めることができた。第2回では、テーマを「指導者の人材確保、育成」とし、事例発表や分科会を実施し、今後の取組などについて認識を深め、課題解決を図ることができた。</p>		
<p>令和5年度の予定</p>	<p>○ 第1回 令和5年6月6日(火)：かごしま県民交流センター大2研修室</p> <p>○ 第2回 令和6年2月2日(金)：かごしま県民交流センター（予定）</p>		

第1回広域スポーツセンター研修会

※ 吹き出しは、参加者の感想

1 説明

「認定クラブ制度の手続き」について
 鹿児島県総合体育センター指導課振興係
 河野 新二 体育研修主事



2 説明

「休日の部活動の段階的な地域移行について」
 「幼児期からの運動習慣プロジェクトについて」
 鹿児島県教育庁保健体育課スポーツ振興係
 山元 尚史 主任指導主事兼係長



3 事例発表

「市町村行政と連携して事業に取り組んでいる総合型地域スポーツクラブの事例発表」
 やくしま仲良しコミスポクラブ
 田村 良二 クラブマネジャー



4 演習

市町村行政と総合型地域スポーツクラブの連携した地域課題の解決に向けた演習
テーマ「部活動のスムーズな地域移行に向けて」

- ・ 議事録，事業実績報告例が参考になりました。
- ・ 「休日の部活動の段階的な地域移行について」は課題が多いが，まず，人材確保が必要になると感じました。
- ・ 事例発表では，具体的な話が聞けてとてもよかったです。
- ・ 自由な意見を出し合い，有意義な時間がとれました。
- ・ 現段階での課題を多面的に捉えることができよかったです。
- ・ 町の課題を市町村で共有し，アドバイスがいただけてとてもためになる会でした。



第2回広域スポーツセンター研修会

1 説明

「第2期マイライフ・マイスポーツ運動」について
鹿児島県教育庁保健体育課スポーツ振興係
山元 尚史 主任指導主事兼係長



2 事例発表1

「令和4年度幼児期からの運動習慣形成プロジェクト実践報告」
「指導者の人材確保，育成について」
鹿児島県教育庁保健体育課スポーツ振興係
神園 章 指導主事
知名町教育委員会生涯学習課
宮當 和重 課長補佐
NPO法人沖永良部スポーツクラブ・ELOVE
前田 純也 理事長



3 事例発表2

「研修会，指導者への個別指導，スカウティング等について」
NPO法人SCC
竹内 良人 ゼネラルマネジャー



4 事例発表3

「様々な講習会を通じた指導者育成について」
NPO法人うとスポーツクラブ
岩永 孝博 理事長



5 分科会

グループ1「市町村や競技団体と連携した人材確保，育成」
NPO法人うとスポーツクラブ
岩永 孝博 理事長

グループ2「指導者を目指す人の育成」
NPO法人SCC
竹内 良人 ゼネラルマネジャー



グループ3「指導者確保と資質向上」

NPO法人SEED

松岡 拓志 理事長

グループ4「クラブ独自の指導者育成」

NPO法人ASA奄美スポーツアカデミー

和泉 和香 クラブマネジャー



- ・ 子供たちの将来を考えて、地域が計画的な推進体制を構築しようとしている状況が素晴らしいと感じ、参考になりました。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの組織構成など詳しく知ることができました。
- ・ 指導者の確保だけでなく、その後の育成にも力を入れて、その方法も詳しく発表していただけてよかったです。本町の総合型地域スポーツクラブにも周知していきたいと思いました。
- ・ 人材確保、育成について参考になることが多かったです。
- ・ 他のクラブのいろいろな事例を聞いてよかったです。
- ・ 行政やクラブそれぞれが抱える問題点、取組、意見等が聞いてよかったです。
- ・ 事例発表では、他のクラブの活動状況も分かり、とてもよい刺激になりました。

(イ) 総合型地域スポーツクラブ育成のための事業

a 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室

※ 詳細については、P 7「イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室」参照

b わくわくスポーツレクリエーション教室

※ 詳細については、P 8「ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室」参照

(ウ) 鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度

令和3年度から、「第2期スポーツ基本計画（スポーツ庁：平成29年）」で示された「総合型地域スポーツクラブの質的充実」を具現化するため、「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」を開始しました。

制度導入の目的、期待できることは以下のとおりです。

a 導入の目的

総合型地域スポーツクラブの運営方法や組織体制の改善、強化を図るとともに、県・市町村行政・総合型地域スポーツクラブの三者相互の連携充実を図ることにより、県民の生涯スポーツ振興の寄与につなげることを目的とします。

b 期待できること

市町村行政機関等に対し総合型地域スポーツクラブの意義・役割等の認識と信頼度を高めることにより、総合型地域スポーツクラブは以下の点等について期待できます。

- ・ 市町村行政所有の運動施設使用の減免，優先予約
- ・ 市町村行政所有の用具・備品の優先貸出し
- ・ 市町村行政主催イベントの運営委託又は指導者派遣
- ・ 「地域部活動の運営団体」としての指導者派遣
- ・ クラブ主催イベントに対する市町村行政の後援承認
- ・ 地域住民への認知度，信頼度の向上
- ・ 会員及び指導者の増加 など



【認定クラブ「認定証」】

認定クラブには、「認定証」を授与します。今後，本制度及び認定クラブを市町村行政機関だけではなく，県内各学校にも周知し，「住民の，住民による，住民のためのスポーツクラブ」である総合型地域スポーツクラブへの理解，認知度の向上に努めてまいります。

(I) 認知度向上推進事業

a 社会体育関係団体等への広報

広域スポーツセンター研修会等を通じて，総合型地域スポーツクラブの説明・広報を行いました。

b 広報誌の発行

広域スポーツセンター事業をホームページで紹介したり，各総合型地域スポーツクラブの事業を広報誌で紹介したりしました。

※ 詳細については，P16「ア 設立支援 (イ)情報提供，相談」参照

c スポーツ・レクリエーションフェスティバルでの総合型地域スポーツクラブと連携した取組

総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室を実施しました。協力していただいたクラブ及び内容は次のとおりです。

- ・ 春「ふれあいプラザ」
 - NPO法人SCC [プレイベント・かけっこ教室]
 - 鹿児島パラアスリートクラブ [障害者スポーツ] ※雨天のため中止
- ・ 秋「スポーツプラザ」
 - NPO法人SCC [かけっこ教室]
 - 南九州スポーツクラブ [なぎなた体験教室]
 - 鹿児島パラアスリートクラブ [障害者スポーツ]

d ホームページの工夫

クラブの資料掲載や総合型地域スポーツクラブ設置状況について，更新しました。

(4) 情報提供、相談体制及び調査研究の充実
 ア 県民のニーズに即応した情報の提供
 (7) スポーツ情報交換会

目的	体育・スポーツ及びレクリエーションに携わる関係機関・団体と報道機関の関係者が一堂に会し、体育・スポーツ及びレクリエーションに関する情報交換を行い、相互の連携を深め、広く県民によりよい情報を提供することで、本県の体育・スポーツ及びレクリエーションの振興と充実を図る。	
期日・会場	令和4年4月22日（金）白波スタジアム第1会議室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
対象	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関（15社） MBC南日本放送, KTS鹿児島テレビ, NHK鹿児島放送局, KKB鹿児島放送, KYT鹿児島読売テレビ, エフエム鹿児島, 南日本新聞社, 共同通信社, 毎日新聞社, 読売新聞社, 朝日新聞社, 西日本新聞社, 時事通信社, 南海日日新聞社, 日本経済新聞社 ○ 関係機関（16団体） 県文化スポーツ局スポーツ振興課, 県障害福祉課, 県教育庁保健体育課, 県国体・全国障害者スポーツ大会局（総務企画課, 全国障害者スポーツ大会課, 競技式典課, 競技力向上対策課）, 公益財団法人県スポーツ協会, 鹿児島市観光交流局観光交流部スポーツ課, 公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会, 県小学校体育連盟, 県中学校体育連盟, 県高等学校体育連盟, 県専門学校体育連盟, 県高等学校野球連盟, 県レクリエーション協会, セイカユニテッドグループ, 社会福祉法人県身体障害者福祉協会, 鹿児島県総合体育センター 	
令和5年度の予定	令和5年4月21日（金）白波スタジアム第1会議室	

(イ) 刊行物の作成・発行

a 総合体育センターだより 	目的	令和5年度に開催予定の事業の内容や日程等の情報を提供することにより、総合体育センター事業に対する県民の関心を高め、生涯スポーツの普及・促進の一助とする。
	送付等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年3月 ○ 発行部数：1,200部 ○ 関係機関, 総合型地域スポーツクラブ, 関係競技団体ほか
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校体育の充実 ○ スポーツ・レクリエーション活動の充実, ニュースポーツ等道具の貸出し ○ 総合型地域スポーツクラブの充実 ○ 情報・指導資料等の提供, 相談体制及び調査研究の充実
b 県民総スポーツすすむ 	目的	総合体育センターが実施するスポーツ・レクリエーション活動の支援や学校体育の充実に係る情報を提供することによって、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興に寄与する。
	送付等	○ ホームページに掲載
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の事業の内容や成果等 ○ 次年度の事業計画等
c 県公立武道館協議会会報 	目的	(公財)日本武道館との共催事業等の情報提供をすることにより、本県武道の普及振興を図るとともに各市町村教育委員会と各武道団体との連携促進の一助とする。
	送付等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年3月 ○ 発行部数：500部 ○ 県内各武道競技団体, 関係市及び各市町村教育委員会, 各スポーツ少年団(武道), 公益財団法人県スポーツ協会, 関係市町村武道競技団体, 県教育庁各課ほか
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度事業報告 ○ 関連事業報告 ○ 令和5年度事業計画

(ウ) ホームページ・フェイスブックによる情報提供

内 容	<p>1 ホームページ</p> <p>1 お知らせ 年間事業計画等</p> <p>2 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>3 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子、参加者の感想など）</p> <p>4 施設利用 県有体育施設の利用について</p> <p>5 資料等（発行物・調査結果） 県民総スポーツすすむ、総合体育センターだより等</p> <p>6 広域スポーツセンター 総合型地域スポーツクラブについて、広域スポーツセンター通信等</p> <p>7 スポーツ・レクリエーション用具の貸出し スポーツ・レクリエーション用具の貸出しの案内、貸出用具一覧等</p> <p>8 令和4年度クラブ診断シート 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）の円滑なクラブ運営に向けた診断シート</p> <p>2 フェイスブック</p> <p>1 事業紹介 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の紹介</p> <p>2 事業結果 スポーツ・レクリエーション活動の振興を図る事業及び研修講座の結果紹介（事業の様子の写真や動画など）</p> <p>3 体づくり運動や研修会等の動画 ソーシャル・ディスタンスを保ちながら行える体づくり運動の動画や、研修会等の実技動画</p>
ホームページ アドレス	www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html
フェイスブック アドレス	https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima

イ スポーツ・レクリエーション相談体制の充実

目 的	県民のスポーツ・レクリエーション活動等に関する幅広い分野からの質問・相談に対して、専門的立場から回答することにより、県民の生涯スポーツ活動を支援する。
期 日 等	通年随時
対 象	県民
成 果	スポーツ・レクリエーション活動に関する施設や競技団体、指導者、イベントなどの情報を収集・整理することにより、随時県民の要望に応じた情報を提供することができた。
令和5年度 の予 定	各市町村、（公財）県スポーツ協会、競技団体、総合型地域スポーツクラブなどと連携を深め、更なる情報収集・提供に努める。

《内 容》

- 電話等による相談、問合せの主な内容
- 県総合体育センター各種事業等に関する事
 - 指導者の養成や派遣に関する事
 - 各種指導者資格に関する事
 - スポーツ・レクリエーション用具の貸出しに関する事
 - 行事・催物・各種大会に関する事
 - 記録や表彰に関する事
 - スポーツの団体やグループに関する事
 - その他